



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

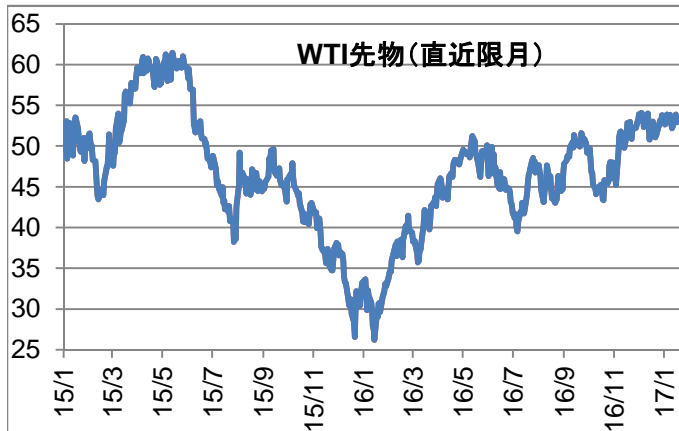
			2月20日	2月21日	2月22日	2月23日	2月24日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.0880	3.0960	3.0650	3.0630	3.1100	+0.0470
	BRL/JPY	Spot	36.63	36.70	36.88	36.79	36.03	-0.76
	EUR/USD	Spot	1.0614	1.0543	1.0566	1.0584	1.06	-0.0026
	USD/JPY	Spot	113.11	113.62	113.08	112.70	112.08	-0.62
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	11.11	11.10	10.83	10.98	10.92	-0.0576
	Future	1Year(p.a.)	10.39	10.33	10.28	10.16	10.17	+0.0026
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.011	1.999	1.977	1.993	2.003	+0.010
	USD	1Year(p.a.)	2.201	2.182	2.189	2.188	2.198	+0.010
株式	Bovespa指数		68,532.88	68,976.94	68,470.88	67,461.38	66,662.13	-799.25
CDS	CDS Brazil 5y		231.39	224.85	224.50	220.02	222.18	+2.16
商品	CRB指数		192.123	192.050	191.227	191.634	190.93	-0.703

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 週間市況、トピックス

- 今週のレアルは3.05台まで上昇するも週末にかけて3.11台へ反落。
- 週初のレアルは3.1010で寄り付いた。引き続き順調な資金流入が見られ堅調に推移する中、週中には週間高値となる3.0530まで上昇。22日のCOPOMでは市場予想通り0.75%の利下げが実施され大きな波乱は見られなかった。週末にかけては伯中銀による合計45.5億ドルのドル売りポジションがロールされずに期日を迎えたことによるドル買い戻しが発生。週間の安値となる3.1170まで売られ結局3.1100で越週となった。
- 伯中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2017年が0.48%、2018年が2.30%でともに据え置き。インフレ率予想は2017年が4.47%から4.43%に小幅下方修正、2018年予想は4.50%に据え置かれた。予想為替レートはレアル高の見方が強まり、2017年末が3.36から3.30へ、2018年末が3.49から3.40へ修正された。
- 22日引け後に発表されたCOPOMでは、市場予想通り前回に続いて0.75%の利下げを実施、政策金利を12.25%とした。声明文では短期的に経済安定の兆しが見られる一方でディスインフレが拡大していると指摘。インフレ見通しが低下する中で政策金利は2017年末で9.5%、2018年末で9%まで下げる様相を帯びているとした。
- FOMC議事録(1月31日-2月1日開催分)は市場の見方が分かれる結果となりレアル相場への影響は限定的だった。雇用やインフレに関するデータ次第では次回利上げを早期に実施するのが適切とする一方、トランプ政権による経済政策の不確実性やドル高による景気への懸念が示された。
- メイレレス財務相は23日、ブラジルの不況は終わったとコメントした。一方、まだ不況の影響から抜け出せていないとも付け加え、長期の成長サイクルに入りつつあるものの成長速度が速まるには時間を要するとの見解を示した。

3. 今週のチャート&ハイライト



出所：Bloomberg

WTI先物が2015年7月以来の水準へ上昇

原油相場が引き続き堅調に推移している。今週OPECのバルキンド事務局長が昨年11月の減産合意が順調に履行されているとの見方を示したことが改めて相場をサポート。23日にはWTI先物が終値ベースで2015年7月以来の水準となる1バレル54.45ドルへ上昇した。一方、米国エネルギー省が発表する原油在庫は集計開始以来の過去最高水準で推移。市場の関心はOPECによる減産延長の有無に移りつつあるが、徐々に上値が重くなる中で米国の利上げを巡る動き等はリスク要因と見られる。



4. 来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：3.00－3.15

来週27日、28日はカーニバルにより休場。実質的な取引再開は3月1日後場以降となる。今週行われたCOPOMでは予想通り0.75%の利下げを実施。今後も相対的な高金利からレアルは堅調な推移が期待される。産業界からはレアル高の悪影響への懸念が示されており、3.0に近づく水準では中銀による介入姿勢に引き続き注目したい。

5. 本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	FIPE CPI-週次	0.02%	-0.05%	0.02%
ブラジル	全国失業率	12.5%	12.6%	12.0%
ブラジル	基礎的財政収支	18.8b	36.7b	-70.7b
ブラジル	Nominal Budget Balance	-10.2b	0.3b	-105.2b
ブラジル	純債務対GDP比	46.5%	46.4%	45.9%
ブラジル	CNI Consumer Confidence	--	104.4	103.8
米	新築住宅販売件数	571k	555k	536k
米	ミシガン大学消費者マインド*	96.0	96.3	95.7

6. 来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
米	2/27	耐久財受注(前月比) / 速報値	Jan	1.7%	-0.5%
米	2/28	GDP(年率/前期比) / 改定値	4Q	2.1%	1.9%
米	2/28	シカゴ購買部協会景気指数	Feb	53.0	50.3
米	2/28	コンファレンス・ロード 消費者信頼感	Feb	111.0	111.8
ブラジル	3/1	貿易収支(月次)	Feb	\$3300m	\$2725m
ブラジル	3/1	自動車販売台数	Feb	--	147229
ブラジル	3/1	商品価格指数(前年比)	Feb	--	-9.10%
ブラジル	3/1	登録雇用創出合計	Jan	-35575	-462366
米	3/1	個人所得	Jan	0.3%	0.3%
米	3/1	ISM製造業景況指数	Feb	56.0	56.0
米	3/1	建設支出(前月比)	Jan	0.6%	-0.2%
ブラジル	3/2	FGV CPI IPC-S	Feb 28	--	0.40%
ブラジル	3/2	マーケット・ブラジルPMI製造業	Feb	--	44.0
ブラジル	3/3	FIPE消費者物価指数(月次)	Feb	-0.05%	0.32%
米	3/3	ISM非製造業景況指数(総合)	Feb	56.5	56.5

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さい。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は、著作物であり、著作権法により保護されており、当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。